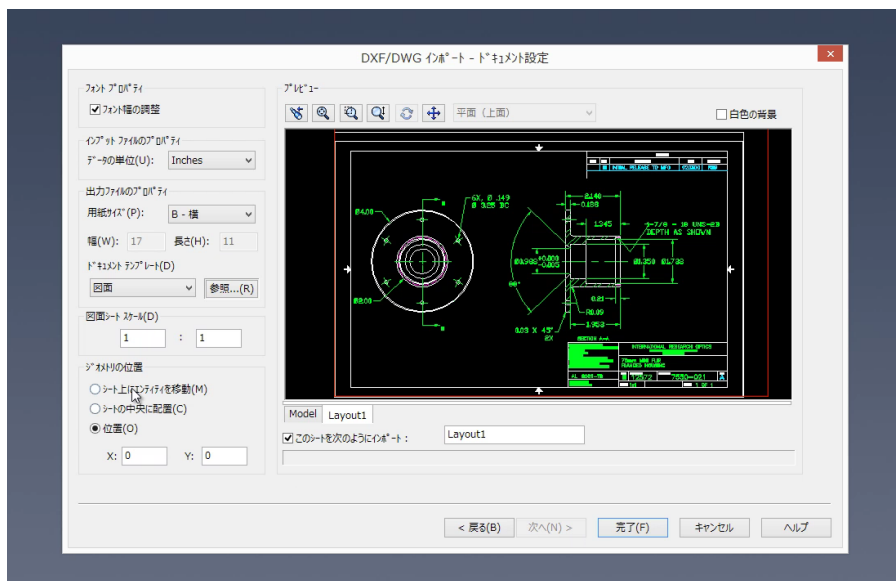


2DCADとSOLIDWORKS



本チュートリアルでは2DCADの図面データをSOLIDWORKS上で活用する方法を学びます。

せっかく3DCADを導入したのでゼロから3D環境で美しく設計できることが理想的です。しかし実際の現場では、なかなかそうはいきません。

3DCADを初めて導入し、設計業務に使いはじめるときには「これまで使っていた2DCADのデータから流用したい」という場合もあります。

そんなときにSOLIDWORKSの2Dインポート機能を使用すると、従来の2D図面データをメンテナンスしたり、流用したりする手段として活用することができます。

SOLIDWORKSの2Dインポート機能には、必要なレイヤーだけを選択したり、不要な線や情報を効率的に削除したりする機能も搭載されています。

ただし、これらはあくまでやむを得ないときの救済手段です。

せっかく3DCADを導入したのに、結局2D図面ばかり作っている、ということがないように注意します。

これらの機能は、急な2D図面のメンテナンスや過去の図面をどうしても利用する必要があったときの次善策として、覚えておくと便利です。

豆知識

これまで長年蓄積した過去の2D資産を有効活用することは、非常に重要なポイントのひとつです。しかし、2D資産の流用とメンテナンスばかりに多くの時間を割いてしまい、本来の3DCADの導入メリットから離れてしまうことがあります。

3次元で設計するイメージの参考として下記のような考え方があります。これらに基づく過去の2次元資産ばかりを重視することが、必ずしも正しいとは限らないことがわかります。

- ・2次元で基準『点』と基準『線』を描いて設計していた。
- ・3次元では+1次となるから、基準『線』と基準『面』を描いて設計検討をする必要がある。
- ・見える化のために3次元を導入したから、図面ではわかりにくい・伝わりにくいところ(相手)とコミュニケーションしたい。

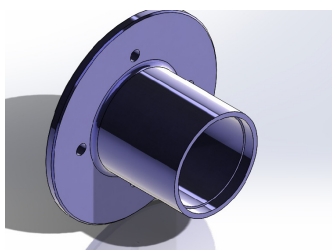
SOLIDWORKSは使いやすさを重視した3DCADです。だからこそ、本当は手間のかかる作業も何とかこなせてしまう場合があります。

本来の目的を忘れず、本質的な意味で設計者の皆様をお手伝いできるように、今後も機能強化を重ねていきます。

ポイント

- 過去の2D図面データからSOLIDWORKSの図面を作成したり、3Dの部品データを作成することが可能です。

過去の2D図面データをどうしても流用する必要がある場合には、おさえておくと便利な機能です。



ソリッドワークス・ジャパン株式会社

SolidWorksは(株)DS SolidWorks社の登録商標です。また、それ以外に記載されている会社名及び商品名も各社の商標または登録商標です。このドキュメントに含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。